学校番号	2004

令和８年度　理科

教科	理科	科目	物理	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「物理」(東京書籍)						
副教材等	新課程版　セミナー物理基礎＋物理（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

公式を覚えて問題を解くことができるようになる事が、物理ができるという事ではありません。身のまわりの現象を理解し、数式を使うことによって、より詳しく知ることが、物理がわかるということです。それを忘れずに、勉強に取り組んでください。授業では、難しい言葉や考え方が出てきます。復習はもちろんですが、予習の時間も大切にしてください。
すでに学んだ物理基礎・物理の知識・技能は応用問題解決には必須の事柄となりますので、しっかりと復習し、取りこぼしのないよう自主的に練習を繰り返してください。

2　学習の到達目標

(1)　物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能や物理学の基本的な概念を身に付けるようにする。
(2)　観察、実験などを行い、科学的な見方や考え方を養うことで日常生活からの断片的知識を系統立て科学的に探究する力や論理的に発表し共有できる表現力を養う。
(3) 物理的な事物・現象に主体的に関わり、自らの考えを科学的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けているとともに、物理量の測定や表し方について理解している。	物理的な事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現するなど科学的に探究している。	物理的な事物・現象について、意欲的にかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	光	● 光の伝わり方 ● 光の回折と干渉	a: 光が波動特有の性質を有することを理解し、説明できる。 b:光の伝わり方と光の回折・干渉について日常の現象と関連付けて波動を分析し、説明できる。 c:波動に関するグループでの話し合いに主体的に関わり、自らの学びについて振り返り探究でしようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 授業の振り返り
	電気と磁気	● 電場と電位 ● コンデンサー ● 直流電流	a: 荷電粒子と電場の関係について理解し、電荷が相互に及ぼしあう影響について数式を使って扱える。 b: 電流について、問題を見いだし見通しをもって観察などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 c: 直流回路やコンデンサーの性質についてグループでの話し合いに主体的に関わり、自らの学びについて振り返り探究しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 授業の振り返り
後期	電流と磁場	●電流と磁場 ●電磁誘導 ●交流	a: 電流と磁場についての観察などを通して、電流と磁場の関連性について理解しているとともに、電流が作る磁場について数式で扱える。 b: 電磁誘導について、問題を見いだし見通しをもって観察などを行い、磁場が与える影響と関連付けて科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 c: 交流回路に関するグループで話し合いに主体的に関わり、自らの学びについて振り返り探究しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 授業の振り返り

	原子	●原子と原子核 ●光電効果 ●コンプトン効果 ●素粒子	a: 原子について、観察、実験などを通して探究し、電子と光、原子と原子核における規則性や関係性を見いだして表現している。 b: 電子、原子及び原子核に関する現象について、問題を見いだし見通しをもって観察などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 c: 電子、原子及び原子核に関する現象についてグループでの話し合いに主体的に関わり、自らの学びについて振り返り探究しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 授業の振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度